



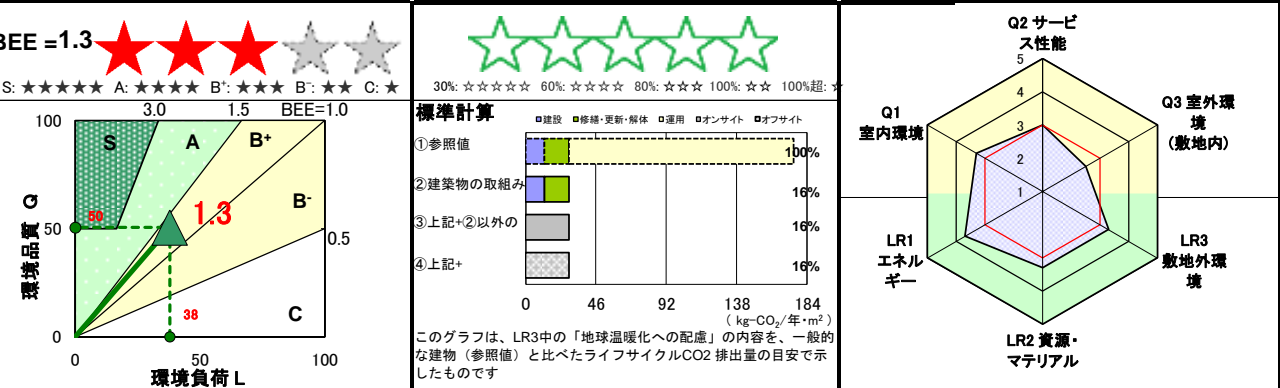
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

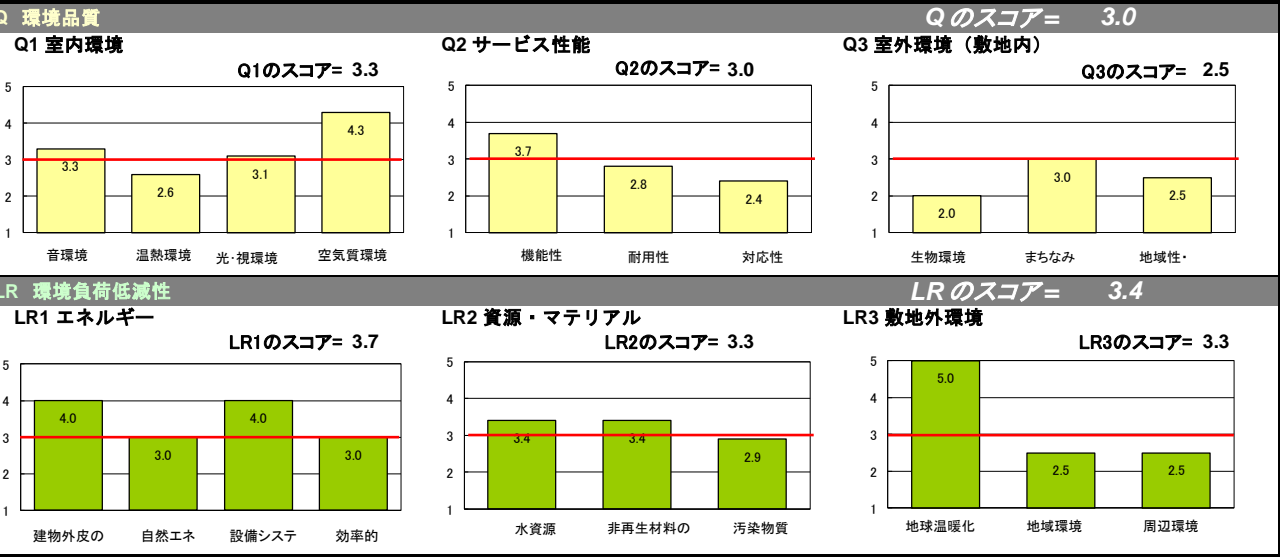
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イリーゼ西宮の沢	階数	地上3F
建設地	札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目338-2	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	77人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年2月 竣工	評価の実施日	2017年2月28日
敷地面積	2,605 m ²	作成者	館本和法
建築面積	972 m ²	確認日	
延床面積	2,753 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>計画地は住宅街の高台に位置するため、計画建物を低層とすることで周辺との調和が出来るように計画した。</p>		<p>A 省エネルギー</p> <p>共用部の照明は人感センサー等を採用し省エネに努める。居室の窓は2重窓として空調負荷の低減に努めた。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>衛生器具は節水型を使用し、照明器具はLEDを採用することで省資源化を図る。</p>	<p>C 緑化</p> <p>道路面に緑化を設け、周辺環境への配慮した。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>駐車場は極力除雪範囲が少なくなるように計画した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される